

豊川市公園施設等利活用・適正化計画「概要版」

●推進方策

地区別公園再編方針に基づき、具体的な施策を実施していきます。

基本方針	推進方策	目標指標 1.市民満足度向上 2.維持管理コスト縮減	進行管理	
			短期 (概ね5年)	中長期 (5~10年)
①公園機能の 適正な再配分	公園の整備	1・2	→	→
	身近な小さな公園の見直し、 集約・統合	1・2	→	→
	長期未整備の都市計画公園の 見直し	1・2	→	→
②公園の利活用 の推進	既存公園の施設改修	1・2	→	→
	学校や公共施設等と連携した 公園利活用の促進	1・2	→	→
	地域の団体等による公園利活用 の促進	1・2	→	→
	他部局連携による公園の利活用 の促進	1・2	→	→
③公園の柔軟な 管理運営	緑や散策等のネットワーク ルート形成の検討	1	→	→
	公園の管理水準の向上	1・2	→	→
	地域ニーズを反映した公園の 維持管理の促進	1・2	→	→
	柔軟な利活用の推進	1	→	→
	賑わい創出のための地域連携	1	→	→
	管理運営手法の検討	1・2	→	→

公園を取り巻く状況

【公園の概要】

- 本市における1人当たりの都市公園面積は13.06㎡/人であり、国における都市公園の1人当たり敷地面積の標準として示される10㎡以上（都市公園法施行令）を確保している。
- 近接する公園間同士で同じような遊具のあることや、公園誘致圏が重複しているケースがみられ、地域のニーズと合っていない公園が存在している。
- 今後人口減少が予測される一方で、維持管理費は年々増加傾向にある。特に施設の老朽化に伴う更新費や、草木の伸長、増加に伴う管理費が増加している。

【市民アンケート】

- 大きい公園の利用が多く、身近な小さい公園は利用者数や地域活動等の利用が比較的少ない状況がみられる。
- 行政負担の考え方としては、「負担を増やし充実すべき」とした人は約1割程度で、約6割の人が「現状並みとすべき」や「減らすべき」としている。
- 利用されていない公園のあり方については、「現状のままでよい」とする人は約1割で、多くの人が現状の機能見直しや集約・統合による他用途での有効活用を求めている。

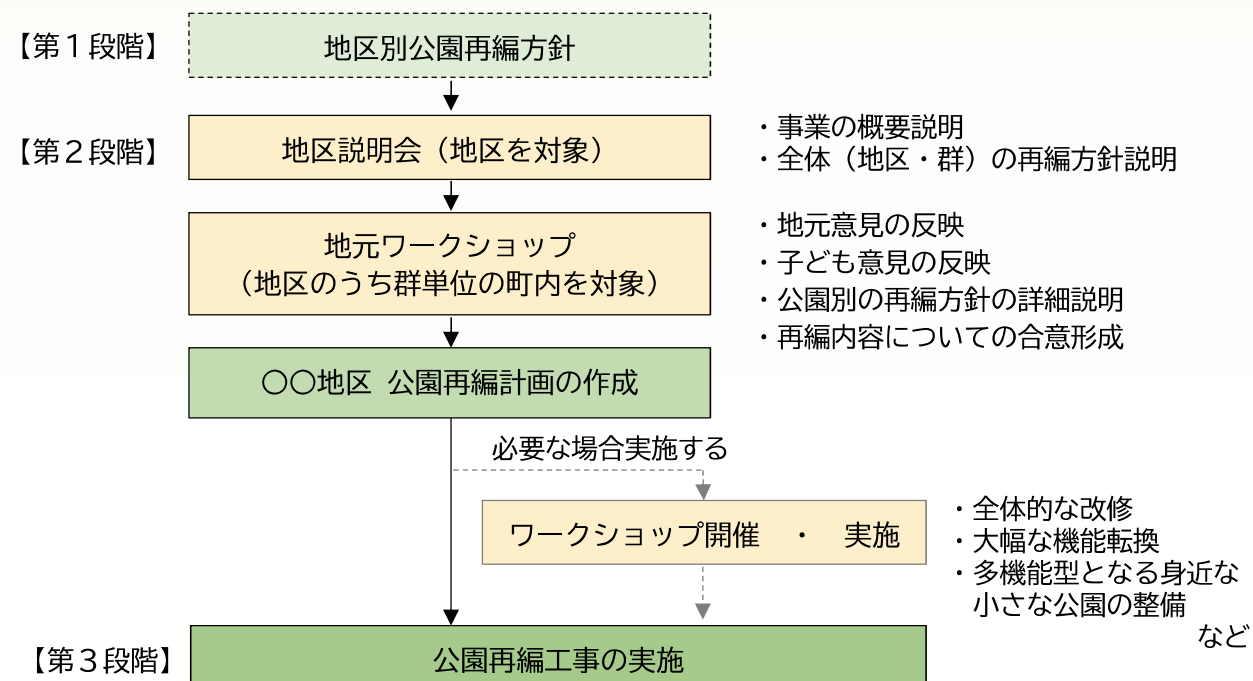
計画の目的

「豊川市公園施設等利活用・適正化計画」は、地域特性やまちづくりの方向性との整合を踏まえ、使いやすく魅力ある公園の再編に取り組み、地域全体で公園利活用の推進を図り、長期的に安定した維持管理を目指します。

公園の利活用・適正化における推進体制

●再編の実施プロセス

市民の合意形成を前提とし、各公園の大規模改修と併せて進めていきます。



【対象公園】

- ・都市公園
- ・児童遊園
- ・ちびっ子広場
- ・その他緑地・広場
- ・臨海緑地

【地区区分】

生活圏を供する小学校区に着目して地区を設定し、地域特性を踏まえた地区全体の方針を地区ごとに示す

計画期間

概ね20年後の都市を展望しつつ、令和8年度から令和17年度までの10年間とします。ただし、社会情勢の変化等を踏まえ、適宜見直しを実施します。

対応すべき課題

■既存ストックの有効活用により「質」を高める

課題1 量より質を高める公園整備

課題2 公園配置の見直し

■変化する利用ニーズに対応した公園機能や公園の使い方の見直し

課題3 利用実態に適合した機能配置

課題4 公園が使いやすい柔軟な使い方への転換、利用機会づくり

■効果的・効率的な公園整備と管理運営

課題5 更新時期にある公園の再整備

課題6 限られた財源を踏まえた整備、管理運営

課題7 公園に関わる活動団体への支援や負担軽減

公園の利活用・適正化における基本的な考え方

各公園の役割分担を図りながら、公園相互のネットワークや周辺に存在するまちの資源や公共施設、山や川などの自然との関連性を考慮することで地域全体のニーズを満たし、「魅力ある地域の公園」、「持続可能な公園」を目標とします。

●目指すべき姿

地域に愛される”暮らしを豊かにする空間”
としての公園の再生

●基本目標

利活用 魅力ある地域の公園 適正化 持続可能な公園

●基本方針

【方針1】公園機能の適正な再配分

■市域全体の公園機能の向上を図るため公園機能の適正な再配分を行います。

【方針2】公園の利活用の推進

■さまざまな人が使いやすく魅力ある公園となるように機能の向上や利活用の推進に取り組みます。

【方針3】公園の柔軟な管理運営

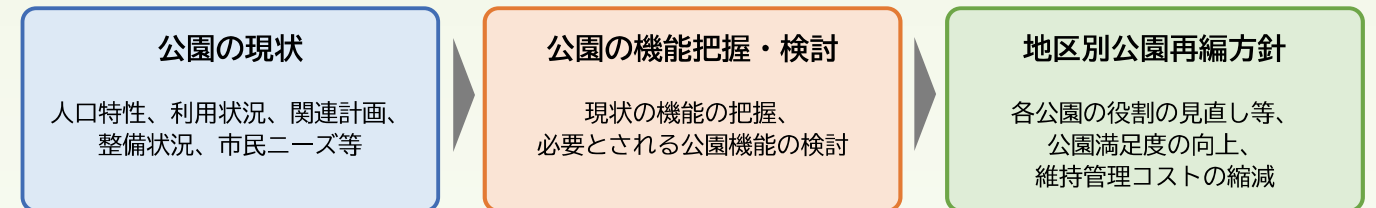
■既存ストックの効果的・効率的な改修の実施や官民連携を図った柔軟な管理運営を推進します。

利活用・適正化に向けた公園の再編

●公園の再編の考え方

公園の再編にあたっては、現状の機能（公園の種別、利用現況、重複度・代替性、公園規模、経過年数）を各公園で定量的に把握します。その上で、地区の中で必要とされる公園機能を検討します。その結果を、地区ごとの地区別公園再編方針として整理しました。

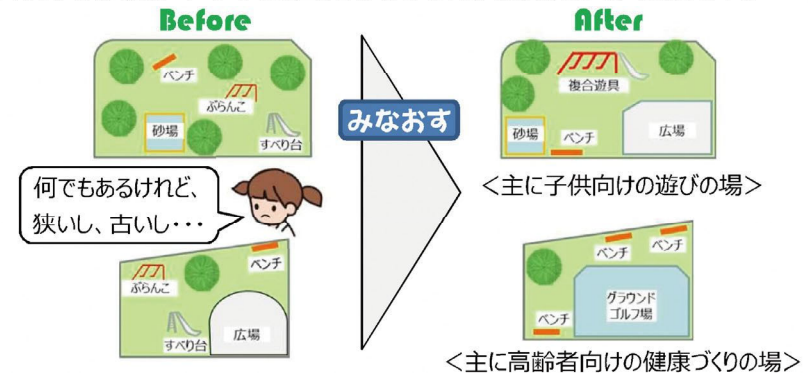
今後、各公園の役割の見直し等を行うことで、地区全体の公園満足度の向上と維持管理コストの縮減を図っていきます。



参考 公園の再編イメージ

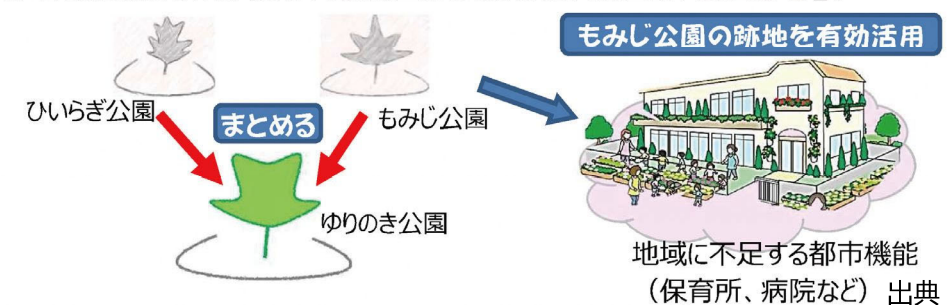
【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「みなおす」。



【配置の再編（集約化）】

○地域に親しまれ、使われる公園となるように、公園を「まとめる」。



公園の利活用・適正化における推進方策

●目標指標

本計画を効果的かつ効率的に推進するために、誰もが分かりやすく、定量的に把握できる目標指標を以下のとおり設定します。

指標	現状値	目標値
目標指標1 「公園の状況」の市民満足度	62.9% (令和7年度)	67.0% (令和17年度)
目標指標2 維持管理コストの縮減率	— (令和5年度)	縮減率20% (令和17年度)

※目標指標1：豊川市民意識調査「公園の状況」において「満足」「まあ満足」と答えた人の割合。

※目標指標2：目標値は再編整備を実施した地区の維持管理コストの縮減率。